

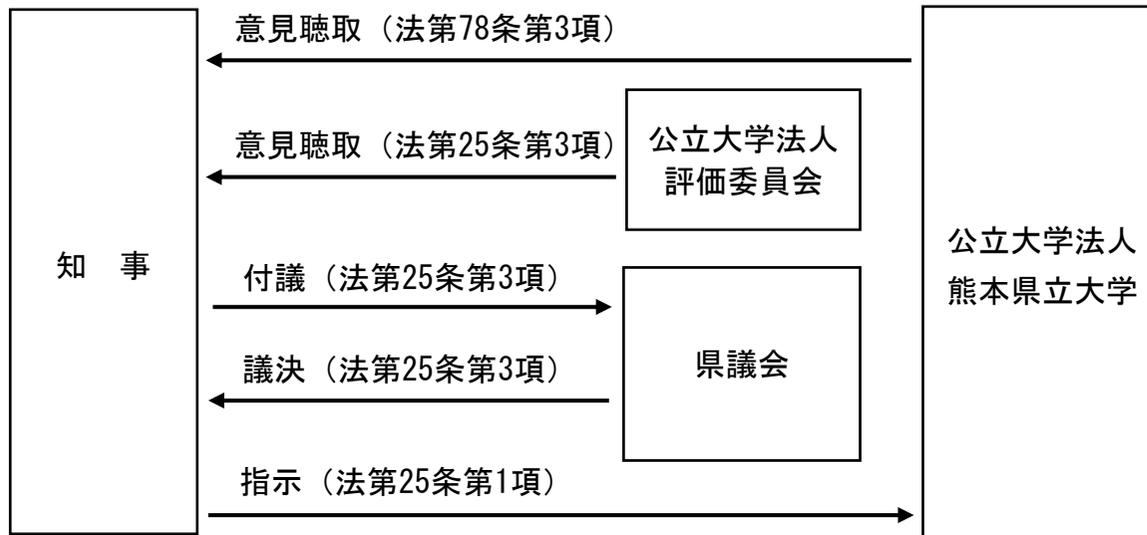
# 公立大学法人熊本県立大学 第4期中期目標の検討状況について

## 中期目標とは

- 目標期間の6年間に大学が達成すべき業務運営に関する目標で、知事が議会の議決を経て定め、大学に指示するもの。  
(地方独立行政法人法第25条第1項)
- 中期目標の指示を受けた大学は、その中期目標を達成するための具体的な計画(中期計画)を定め、知事の認可を受ける。  
(地方独立行政法人法第26条第1項)

第4期中期目標の期間：令和6年度(2024年度)から令和11年度(2029年度)までの6年間

## 中期目標の策定手順



## 中期目標策定に係る主なスケジュール

令和5年3月	公立大学法人評価委員会	目標検討状況報告
5月	公立大学法人評価委員会	目標(素案)審議
6月	6月県議会	目標検討状況(素案)報告
7月		パブリック・コメントの実施
10月	公立大学法人評価委員会	目標(案)審議
12月	12月県議会	目標の議案付議(議決)
令和6年1月		熊本県立大学に目標を指示
(参考) ~2月	熊本県立大学	中期計画を策定し、知事に認可申請
3月	公立大学法人評価委員会	中期計画(案)審議
3月	知事	中期計画の認可

## 中期目標策定に当たっての考え方

- 第4期中期目標は、現在の第3期中期目標を基本としつつ、以下の内容を考慮し、必要な見直しを行う。

### 1 第3期中期目標・中期計画のうち達成が厳しい指標

- ① 大学院の収容定員充足率、②文学部英語英米文学科に必要な英語能力到達割合

### 2 県内企業・市町村等に対するアンケート結果（令和5年1月実施：回答数211（民間企業等・県内市町村・県庁各課合計））

#### 特に取り組んで欲しい事項（回答の多い順）

- ① コミュニケーション能力を持ち、人的ネットワークを形成できる人材の育成
- ② 社会状況の変化に柔軟に対応できる人材の育成
- ③ 地域課題の解決に役立つ研究活動

#### 社会課題・県内動向への対応（回答の多い順）

- ① DX（デジタル技術を用いた生活やビジネス、教育の変容）の促進
- ② 地方創生の取組強化（若者の地元定着促進等）
- ③ 少子・高齢化への対策・適応（学生の確保、社会人等学生の受け入れ等）

### 3 県計画、中央教育審議会審議等

#### 「新しい熊本創造に向けた基本方針」基本理念（2021年3月 3年間）

熊本地震と令和2年7月豪雨からの創造的復興を両輪に、新型コロナウイルス感染症による社会の変容を見据え、持続可能な「新しいくまもと」を創造する

#### 「地域の中核となる大学」に求められるもの（R3.12中央教育審議会）

産学官連携、人材が集まる「魅力ある地域」、地域の課題解決や地域経済の発展を支え地域に貢献する「地域の中核となる大学」を目指す取組が必要

### 4 公立大学法人（理事長）意見

#### ① 社会と時代の要請に合わせた教育の質の向上

・本学は教育大学。自ら学び、成長していくための、広くしっかりとした土台を付ける。最先端で何が起きているかを学ぶ。

#### ② 地域との幅広い協働を確立する教育研究の着実な推進

・「起業支援」、「事業承継支援」、「産学官連携」（データセンター含む）

#### ③ 国際的な視野と認識を高める教育研究の着実な推進

・英語でビジネスができる人を育てる。（入試の）帰国子女選抜枠の周知・受入れ促進。

(第4期中期目標の検討)

1 スローガン「地域に生き、世界に伸びる」

2 基本目標

- ・ 地域社会を担う人材育成の拠点
- ・ 地域社会の発展に貢献する知的創造の拠点
- ・ 地域社会における学習・交流の拠点

3 重点目標(案)

※1～3は、朱書部分以外は現行目標から変更なし。

- (1) 教育の質の向上
- (2) 熊本地震及び令和2年7月豪雨からの復興支援を含めた地域に貢献する教育研究の推進
- (3) グローバル化の推進

【参考】第2期中期目標の重点目標

- (1) 教育の質の向上
- (2) 特色ある研究の推進
- (3) 地域貢献活動の更なる推進

4 3重点目標に沿って、第4期中期目標に盛り込む主な内容(案)

(1) 教育の質の向上

- ← コミュニケーション能力、社会状況の変化への柔軟な対応、地域課題の解決 (企業等アンケート)
- ← 社会と時代の要請に合わせた教育の質の向上 (理事長意見、企業等アンケート)  
自ら学び成長していくための広くしっかりした土台を付ける、最先端で何が起きているのかを学ぶ(データサイエンス、カーボンニュートラル、DX等)

(2) 地域貢献

- ← 産学官連携 (中央教育審議会審議、理事長意見)、シンクタンク機能の充実 (企業等アンケート)
- ← 起業・事業承継支援の充実 (理事長意見)
- ← 若者の地元定着促進 (企業等アンケート)

(3) グローバル化の推進

- ← 「英語でビジネスができる人を育てる」 (理事長意見)  
TSMCの進出に伴う地域のグローバル化に対応(企業等アンケート)、TOEIC IP受験者数の改善(第三期中期計画の達成状況)
- ← 国際交流・異文化理解の促進 (企業等アンケート)、社会人や外国人留学生など多様な学生の確保 (中央教育審議会審議)  
海外留学・研修等への派遣学生数の改善(第三期中期計画の達成状況)

第4期中期目標の構成（案）

※基本構成は第3期中期目標と同じとし、各目標の内容に以下の文言を追加する。

前文	
公立大学法人熊本県立大学の基本目標	
●	中期目標の期間
●	重点目標
I	大学の教育研究等の質の向上に関する目標
1	教育に関する目標
2	研究に関する目標
3	地域貢献に関する目標
4	国際交流に関する目標
II	業務運営の改善・効率化に関する目標
1	大学運営の改善に関する目標
2	教育研究組織の見直しに関する目標
3	人事に関する目標
4	事務等の効率化・合理化に関する目標
III	財務内容の改善に関する目標
1	自己収入の増加に関する目標
2	経費の抑制に関する目標
IV	自己点検・評価及び情報提供に関する目標
1	評価の充実に関する目標
2	情報公開、情報発信等の推進に関する目標
V	その他業務運営に関する重要目標
1	施設設備の整備・活用等に関する目標
2	安全管理に関する目標
3	人権に関する目標

「熊本地震及び令和2年7月豪雨からの復興支援を含めた地域に貢献する教育研究の推進」

- ・ 地域課題の解決
- ・ 社会の要請を踏まえた教育の展開  
(ライフサイエンス、環境、カーボンニュートラル、DXの推進等)
- ・ 多様な学生及び教員の確保
- ・ グローバル化の推進(実践的な英語教育、異文化理解促進に向けた教育)
- ・ 地域産業界と協働したインターンシップ

- シンクタンク機能の明確化のため
- ・ DX推進の取組
  - ・ 起業・事業承継支援の充実

- ・ DXの推進等による効率的な事務処理

文言の追加

(参考) 第2期と第3期の構成比較

第2期	
公立大学法人熊本県立大学の基本目標	
● 中期目標の期間	
● 重点目標	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	
1	教育に関する目標
2	研究に関する目標
3	地域貢献に関する目標
4	国際化に関する目標
5	学生生活支援に関する目標
II 業務運営の改善・効率化に関する目標	
1	大学運営の改善に関する目標
2	教育研究組織の見直しに関する目標
3	人事の適正化に関する目標
4	事務等の効率化・合理化に関する目標
III 財務内容の改善に関する目標	
1	自己収入の増加に関する目標
2	経費の抑制に関する目標
IV 自己点検・評価及び情報提供に関する目標	
1	評価の充実に関する目標
2	情報公開、情報発信等の推進に関する目標
V その他業務運営に関する重要目標	
1	施設設備の整備・活用等に関する目標
2	安全管理に関する目標
3	人権に関する目標

統合

第3期	
公立大学法人熊本県立大学の基本目標	
● 中期目標の期間	
● 重点目標	
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	
1	教育に関する目標
2	研究に関する目標
3	地域貢献に関する目標
4	国際交流に関する目標
II 業務運営の改善・効率化に関する目標	
1	大学運営の改善に関する目標
2	教育研究組織の見直しに関する目標
3	人事に関する目標
4	事務等の効率化・合理化に関する目標
III 財務内容の改善に関する目標	
1	自己収入の増加に関する目標
2	経費の抑制に関する目標
IV 自己点検・評価及び情報提供に関する目標	
1	評価の充実に関する目標
2	情報公開、情報発信等の推進に関する目標
V その他業務運営に関する重要目標	
1	施設設備の整備・活用等に関する目標
2	安全管理に関する目標
3	人権に関する目標